

平成 2 7 年 度

財政健全化審査及び経営健全化審査

湯沢町監査委員

野上 新平

角 谷 勉

財政健全化審査及び経営健全化審査意見

1 審査の概要

審査は、提出された健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の期間

平成28年8月25日 1日間

3 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

記

(1) 健全化判断比率

	平成27年度	平成26年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	15.0 %
連結実質赤字比率	—	—	20.0 %
実質公債比率	4.3%	3.6%	25.0 %
将来負担比率	44.5%	23.3%	350.0 %

実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、赤字額がないので—と表示している。

実質公債費比率について

平成27年度の実質公債費比率は 4.3%となり、前年度に比して 0.7 ポイント悪化しましたが、依然として 44.5%早期健全化基準の 25.00%と比較すると、これを大幅に下回り、良い状況です。

将来負担比率について

平成27年度の将来負担比率は 44.5%となり、実質公債費比率と同様に前年度に比して 21.2 ポイント悪化はしましたが、依然として早期健全化基準の 350.00%と比較すると、これを大幅に下回り、良い状況です。

(2) 資金不足比率

	平成27年度	平成26年度	経営健全化比率
水道事業会計	—	—	20.0 %
病院事業会計	—	—	20.0 %
下水道特別会計	—	—	20.0 %

資金不足額がないので、それぞれ—と表示している。

